

自然地理学特論 I

山田周二

○内容

高校地理 B の教科書（帝国書院発行のもの）に基づいて、電子黒板と PC またはタブレット端末を利用した、自然地理分野の内容の教材を作成して、その教材を用いた模擬授業を大学院生が行う。授業の内容は、以下の通りである。

- ①模擬授業では、導入やまとめは不要で、作成した教材を用いた部分だけを行うこと。
- ②作成する教材には、必ず、受講生がタブレット端末を用いて行う作業を含むこと。授業で行う作業は、必ず事前に行ってみて、最後に模範例として紹介すること。
- ③タブレット端末での作業には、Google Earth か地理院地図を用いること。それらの使い方は、第 2 回と第 3 回で説明する。
- ④作業のやり方の説明は、電子黒板で行うこと。説明には、パワーポイントを使用せず、Google Earth か地理院地図を用いること。
- ⑤模擬授業の時間は、1 人 30 分で、予定の内容が終わらなかった場合は、30 分で打ち切る。その後の 15 分で、授業内容を検証する。1 回の授業で、2 名が模擬授業を行う。

○授業の日程と模擬授業で取り扱う内容

| | | |
|--------|------|------------------------------|
| 第 1 回 | 4/10 | 授業の概要の説明 |
| 第 2 回 | 4/17 | Google Earth を利用した模擬授業の事例 |
| 第 3 回 | 4/24 | 地理院地図を利用した模擬授業の事例 |
| 第 4 回 | 5/8 | 模擬授業①世界の大地形：P26～32 |
| 第 5 回 | 5/15 | 模擬授業②外的営力によってつくられる小地形：P34～37 |
| 第 6 回 | 5/22 | 模擬授業③その他の地形：P38～40 |
| 第 7 回 | 5/29 | 模擬授業④熱帯・乾燥帯の自然と生活：P56～59 |
| 第 8 回 | 6/5 | 模擬授業⑤温帯の自然と生活：P60～63 |
| 第 9 回 | 6/12 | 模擬授業⑥亜寒帯・寒帯・高山の自然と生活：P64～67 |
| 第 10 回 | 6/19 | 模擬授業⑦日本の地形・気候：P70～72 |
| 第 11 回 | 6/26 | 模擬授業⑧日本の自然災害と防災：P73～75 |
| 第 12 回 | 7/3 | 模擬授業⑨環境問題：P76～87 |
| 第 13 回 | 7/10 | 模擬授業⑩ |
| 第 14 回 | 7/17 | 模擬授業⑪ |
| 第 15 回 | 7/24 | 模擬授業⑫ |

* 模擬授業で使用する KML ファイルまたは HTML ファイルは、模擬授業の前日までに、山田に Eメールの添付ファイルで送ること。山田のメールアドレスは、syamada@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

* 授業では、授業者も受講者も PC またはタブレットを使用するので、毎回、PC かタブレットを持参すること。PC またはタブレットには、Google Earth Pro および Google Chrome をインストールしておくこと。そして、Google Chrome のブックマークに、Web 版「Google Earth」と「地理院地図」、「自然地理学特論のページ」を追加しておくこと。自然地理学特論のページは、「山田地理研究室」

(http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~syamada/map_syamada.html) からリンクしてある。

| 日 | 単元 | ページ | 授業者 1 | 授業者 2 |
|------|------------------|-------|-------|-------|
| 5/8 | 世界の大地形 | 26～32 | | |
| 5/15 | 外的営力によってつくられる小地形 | 34～37 | | |
| 5/22 | その他の地形 | 38～40 | | |
| 5/29 | 熱帯・乾燥帯の自然と生活 | 56～59 | | |
| 6/5 | 温帯の自然と生活 | 60～63 | | |
| 6/12 | 亜寒帯・寒帯・高山の自然と生活 | 64～67 | | |
| 6/19 | 日本の地形・気候 | 70～72 | | |
| 6/26 | 日本の自然災害と防災 | 73～75 | | |
| 7/3 | 環境問題 | 76～87 | | |
| 7/10 | | | | |
| 7/17 | | | | |
| 7/24 | | | | |